

保土ヶ谷支援学校

ICT だより



令和7年3月発行 vol.3
発行 教育支援グループ
情報教育班

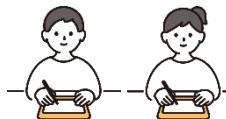
今年度も早いものであと1か月ですね。令和6年度は最初から一人一台の端末を活用しての学習がスタートした年でした。「どのような指導をするとよりよい教育になるのだろう」といろいろ試行錯誤しながら新しいことにも取り組んできました。今回は、今年度新しく取り組んだアプリやサービスなどを紹介します。

教育用アプリやサービスについて

情報教育班

○iPad

「ひらがなできるもん」ことばの専門家が作成したひらがな学習アプリです。
「DropKit」ドロップレットプロジェクトが開発した特別支援教育に特化した教材作成アプリです。



○Web アプリ

「Kahoot!」TV番組のようなクイズ作成ができるWebアプリです。
「桃太郎電鉄教育版」桃太郎電鉄で遊びながら地理を学べます。
「ポケモンプログラミングスタートキット」
ポケットモンスターのキャラクターを利用してプログラミングが学べるWebアプリです。

また、前号で紹介したように分教室に大型電子黒板を導入しました。新しい変化に私たち教員も常にアップデートしていくよう今後とも努めていきます。来年度もよろしくお願いします。

ICT 活用実践① 中学部

中学部1年生では、音楽の授業で「Canva」というアプリを使用して作曲活動を行いました。生徒自身が曲のテーマやイメージ・気持ちを選び、選んだものをAIが自動で作曲してくれる機能を用い、主体的に音楽活動に親しむことができました。生徒たちは、積極的に選ぶ活動に参加していて、自分の曲も友だちが作曲した曲も穏やかに聴き入る様子が見られました。



ICT 活用実践② 高等部



社会の授業では、地理学習の一環として「桃太郎電鉄 教育版」を利用しました。双六のようなゲーム形式で、神奈川県のある関東地方や修学旅行先の近畿地方など地方ごとにプレイすることができ、知っている駅名や地名、名産品が出ることで盛り上がりいました。駅マスに停まると、その周辺の地理情報やランドマークの情報も見ることができるので、より詳しく知ることができました。順番を守ることや駅マスで買い物をする際のお金の計算など、他の学習にも繋がり、みんなで楽しく取り組むことができました。



ICT 活用実践 横浜平沼分教室

横浜平沼分教室の「職業」の授業では、3つの班に分かれて、働くことについて学習をしています。その中の「サービス班」では、職員や参観日の保護者に向けてコーヒー・紅茶の販売を行い、手順通りに仕事をすることや接客、道具の正しい扱い方、報連相等について学んでいます。今年度からChromebookを扱い、二次元コードを用いた事前オーダーの開始や、「Google フォーム」を使ったネットアンケートを導入しました。班員の生徒が集約を行い、スムーズな飲み物の提供や活動の振り返りに役立てられるとともにICT教育を深めることができました。